

徳島県博物館協議会

NO. 9
ニュース

発行：2000年11月1日 編集：徳島県博物館協議会(事務局・徳島県立博物館内 TEL088-668-3636)

企画展・催し物案内(2000.11月～2001.3月) & PR情報

徳島県立博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 088-668-3636

12月5日〔火〕～12月24日〔日〕
開館10周年記念行事 写生大会作品展

人文と自然をあわせた総合博物館です。チラノサウルスの全身骨格や銅鐸など展示しています。



徳島県立近代美術館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 088-668-1088

11月3日〔金〕～12月17日〔日〕
開館10周年記念展 近代徳島の美術家列伝
1月20日〔土〕～3月11日〔日〕四谷シモン展

開館10周年を記念して徳島にゆかりの作家作品を集めた特別展を開催中です。会期中は無料です。



徳島県立文書館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 088-668-3700

徳島県の公文書・古文書・行政資料を収集保存し一般の利用に供している機関です。展示講座も行っています。



徳島市立徳島城博物館

〒770-0851 徳島市徳島町城内1-8 088-656-2525

本年4月より、博物館ガイドボランティアが発足しましたので、ご利用ください。

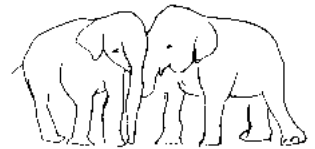


とくしま動物園

〒771-4267 徳島市渋野町入道22-1 088-636-3215

11月23日〔木〕～1月31日〔水〕
第3回とくしま動物園写真コンテスト入賞作品展
12月1日〔金〕～12月24日〔日〕クリスマス展
12月24日〔日〕動物園のクリスマス
12月26日〔火〕～1月31日〔水〕干支展
1月2日〔火〕干支の引継式
2月12日〔月〕予定
第2回とくしま動物園はり絵コンテスト
3月4日〔日〕(予定) 第1回動物俳句コンテスト

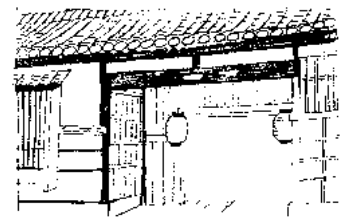
とくしま動物園は、社会教育機能の拠点となる動物園を目指し、環境教育・情操教育の2つに力を入れています。



阿波十郎兵衛屋敷

〒770-0114 徳島市川内町宮島本浦184 088-665-2202

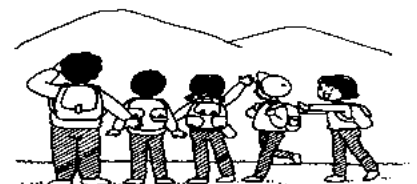
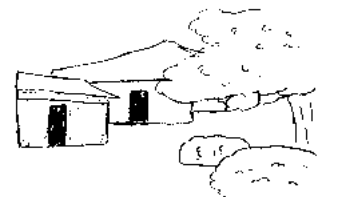
国重要無形民俗文化財の阿波人形浄瑠璃芝居「傾城阿波鳴門」の主人公板東十郎兵衛の屋敷跡です。



丈六寺宝物館

〒770-0908 徳島市丈六町丈領32 086-645-2207

国指定重要文化財の「細川成之画像」をはじめ、聖観音坐像胎内仏・古書画・古茶碗等を展示しています。



モラエス館

〒771-4263 徳島市眉山町茂助ヶ原 088-623-5342

日本文化と日本女性をこよなく愛したポルトガルの文学者モラエスの作品や遺品などを展示した資料館です。



徳島県郷土文化会館—阿波木偶資料館—

〒770-0835 徳島市藍場町2丁目14 088-623-5342

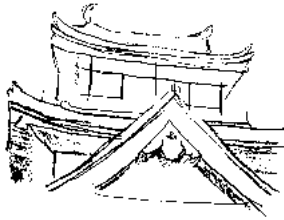
本県の代表的な民俗芸能である人形芝居の木偶カシラが数多く見られます。お気軽にご来館ください。



徳島県立鳥居記念博物館

〒772-0016 鳴門市撫養町妙見山公園 088-686-4054

徳島が生んだ人類学・考古学の開拓者・鳥居龍藏博士の業績を顕彰する施設。実地調査収集品、遺品等を展示。



鳴門市ドイツ館

〒779-0225 鳴門市大麻町松字東山田 58-2 088-689-0099

10月5日〔木〕～12月3日〔日〕
ドイツ兵俘虜から見た収容所生活と徳島の人々
元俘虜エードアルト・ライボルトさんから寄贈された貴重な資料を展示し、常設展示とは別の角度から板東俘虜収容所や当時の徳島の人々のことを紹介します。



財団法人 恰美術館

〒772-0016 鳴門市撫養町妙見山公園 088-686-1611

毎回ユニークな特別展を行うことで話題になっており、今回は「かまぼこ板の絵秀作展」と常設の芹沢圭介です。



徳島県立大鳴門橋架橋記念館エディ

〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池 088-687-1330

世界的にめずらしい鳴門の渦潮の発生理由と魅力が見られ、大鳴門橋等橋についての展示物を揃えています。



勝浦町郷土資料展示室

〒771-4305 勝浦郡勝浦町大字久国字久保田 2-1 08854-2-2300

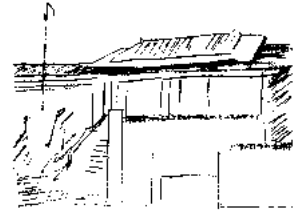
12月5日〔火〕～12月10日〔日〕掛軸展示会
平安時代に作られた絵馬を始め、鎌倉時代作と言われる古面の数々を常設展示。



那賀川町立歴史民俗資料館

〒779-1234 那賀郡那賀川町大字古津字居内 339-1 0884-42-2966

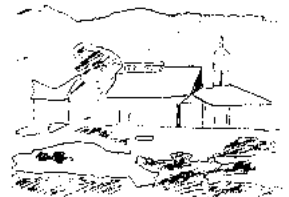
足利尊氏の末裔である阿波公方が270年間過ごした館跡に建てられた資料館。古文書講座も開催されています。



相生森林美術館

〒771-5411 那賀郡相生町横石字大板 34 08846-2-1117

木のまち相生の木の香あふれる美術館です。夏休みは特別展として絵本の原画展を開催します。



日和佐うみがめ博物館

〒779-2304 海部郡日和佐町日和佐浦 370-4 0884-77-1110

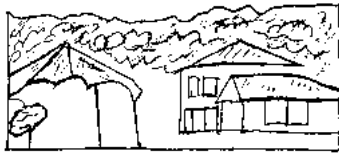
カメの進仕史、ウミガメの生態等の資料の展示や飼育しているウミガメの観察の出来る博物館です。



貝の資料館「モラスコむぎ」

〒775-0005 海部郡牟岐町大字灘字下浜辺 198-1
0884-72-2520

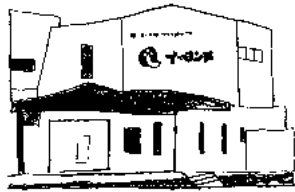
生きたオウムガイ他
約2000点の貝を展
示しています。



海部町大うなぎ水族館イーランド

〒775-0302 海部郡海部町奥浦
0884-73-2330

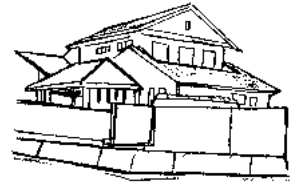
体長2m体重25kgを
筆頭に大きささまな大
うなぎを年齢別に観察で
きます。



上板町立歴史民俗資料館

〒771-1310 板野郡上板町泉谷字原中筋 8-1
088-694-5688

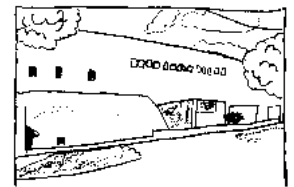
阿波和三盆糖の歴史見
学等は和三盆の古里上板
町歴史民俗資料館へぜひ
一度お越し下さい。お待
ちしております。



土成町郷土歴史館

〒771-1506 板野郡土成町大字土成字丸山 46-1
088-695-2311

土成町から出土した旧石
器時代～中世の遺物や近世
の民俗資料、また故三木武
夫氏の遺品等を展示してい
ます。

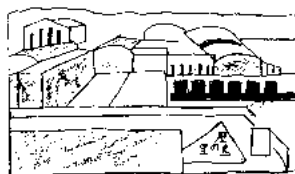


松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館

〒771-0220 板野郡松茂町広島字四番越 11-1
088-699-5995

10月5日〔木〕～12月27日〔水〕 明治時代の松茂
1月5日〔金〕～3月 写真で見る松茂ゆかりの史跡
3月 資料館講座作品展

11月22日から26日
までの5日間、収蔵庫を
一般公開します。今年は
木偶の頭等がある第2収
蔵庫も公開します。

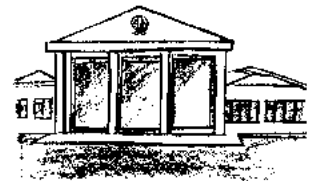


市場町立歴史民俗資料館

〒771-1602 阿波郡市場町大字市場字上野段 212-2
0883-36-6455

11月15日〔水〕～11月29日〔水〕
大塚唯士〔秀峰〕墨書展

赤羽刀剣〔占領軍に接
収された刀剣〕2点55
年ぶりの里帰り。研磨も
終了し新春より公開展示
を致します。



財団法人 阿波和紙伝統産業会館

〒779-3401 麻植郡山川町字川東 141
0883-42-6120

10月17日〔火〕～12月3日〔日〕 阿波和紙展
12月5日〔火〕～1月17日〔水〕
第3回寄り合い作品展
1月23日〔火〕～3月4日〔日〕
第12回小学生によるデザインはがき展

手漉和紙の実演見学・体
験実習が楽しめるほか、企
画展示や阿波和紙製品の販
売も行っています。



社団法人 三木文庫

〒771-0212 板野郡松茂町中喜来字中須 20-2
088-699-2414

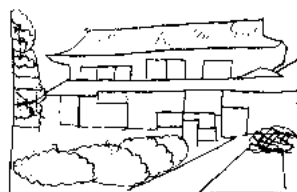
三木家当主第13世と
吉郎が、昭和55年4月社
団法人とした。阿波藍関
係の資料館です。



藍住町歴史館「藍の館」

〒771-1212 板野郡藍住町徳命字前須西
088-692-6317

阿波藍の栽培と加
工の全過程が理解で
き、築約二百年の旧
奥村家屋敷を公開。
藍染めの体験可。ハ
ンカチ500円。



美馬郷土博物館

〒771-2105 美馬郡美馬町字願勝寺 8
0883-63-2118

寺町周辺ボランティア
案内グループが設立され
ました。気軽にお越し
ください。



井川町ふるさと交流センター 民俗資料館

〒779-4802 三好郡井川町岡野前 64
0883-78-4311

今回の特別展は油絵画展
と書道関係展を開催して
います。同時に井川町の
歴史展も常設展示して
おります。

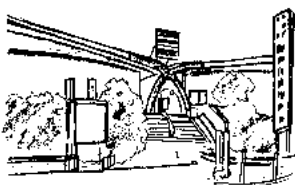


三加茂町立歴史民俗資料館

〒779-4703 三好郡三加茂町中庄 1189
0883-82-3964

11月1日〔水〕～12月25日〔月〕
カメラがとらえた三加茂の20世紀

町内から集めた古写
真を、A4版に製版「カ
メラの見た三加茂の20
世紀」として説明をつ
け展示しています。



平家屋敷民俗資料館

〒778-0105 三好郡西祖谷山村字東西岡 46
0883-84-2029

平家屋敷は昔の建物
そのまま、屋根は草
葺で、屋内には平家由
来の宝物を展示して
います。年中無休。



石の博物館

〒779-5452 三好郡山城町上名 1553-1
0883-84-1489

山城町内の岩石や世界のさ
まざまな岩石鉱物を展示。
世界の青石「岩崎コレク
ション」も展示中。



徳島県立佐那河内いきものふれあいの里

〒771-4102 名東郡佐那河内村上字大川原 5-8
088-679-2238

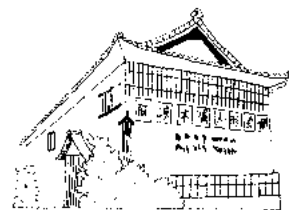
ネイチャーセ
ンター周辺では、
アサマリンドウ
が、可憐な花を
咲かせています。



阿波木偶人形会館

〒771-0114 徳島市川内町宮島本浦 226-1
088-665-5600

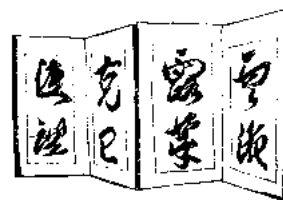
聞いて観て遣って楽
しむ阿波木偶人形会館。
浄瑠璃人形の総合展示
場。制作過程の詳しい
説明。



菘翁美術館

〒770-0855 徳島市新蔵町 1丁目 46
088-653-2858

空海に次ぐ書家とし
て著名な貫名菘翁の書画
作品を収蔵し、常時展示
して一般に公開するもの。



阿波こくふ街角博物館 (運営委員会)

〒779-3122 徳島市国府町府中 57-6
088-642-0183

国府町は昔阿波の国司
庁があり栄えたところ。街
角の工場や民家に心とき
めく名品があって13館
が博物館。



那賀川町科学センター

〒779-1243 那賀郡那賀川町大字上福井字南川淵8-1
0884-42-1600

2月10日〔土〕・11日〔日〕

青少年のための科学の祭典 徳島大会

西日本最大の113センチ大型天体望遠鏡を使った天体観望会を毎週火・金・土曜に開いています。要TEL申込



神山町郷土資料館

〒771-3310 名西郡神山町神領字中津132
088-676-1177

神山の工艺品等の展示。

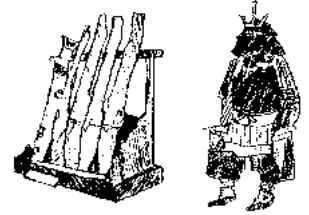


祖谷宝物館

〒778-0102 三好郡西祖谷山村字善徳162-7
0883-87-2733

祖谷平家・徳島城主蜂須賀家の家宝を数百点展示。県指定文化財展示。

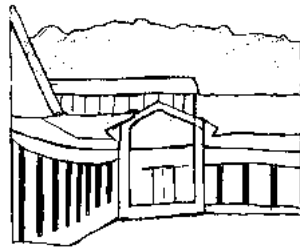
現在、休館中です。



海南町立博物館

〒775-0202 海部郡海南町四方原字杉谷73
0884-73-3100

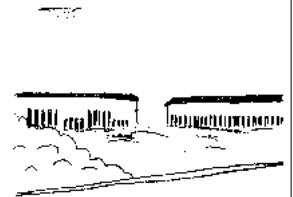
郷土の歴史文化に関わる物を展示しています。海部刀、大里出土銭、大里古墳の出土品やジオラマがあります。



大塚国際美術館

〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池65-1
088-687-3737

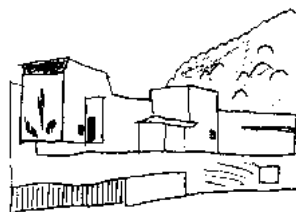
陶板の上に原寸大で忠実に再現した世界初のセラミックアートミュージアム。



穴喰町海洋自然博物館

〒775-0513 海部郡穴喰町竹ヶ島28-45
0884-76-3100

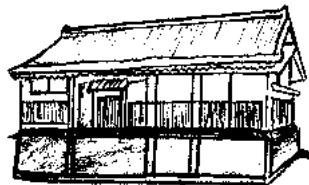
みんなの知らない海がある。海を知り、海を体験する感動のスペースです。



阿波和三盆糖資料館

〒771-1310 板野郡上板町泉谷
088-694-2020

徳島物産の阿波和三盆糖についての資料館です。製法の解説及び昔の道具、その他資料を展示してあります。



徳島市立考古資料館

〒779-3127 徳島市国府町西矢野字奥谷10-1
088-637-2526

10月24日〔火〕～12月17日〔日〕

特別企画展「古墳時代の祭祀」

1月5日〔金〕～2月18日〔日〕

企画展「鮎喰川流域の弥生文化」仮題

2月27日〔火〕～4月15日〔日〕

特別企画展「古代の硯と出土文学」仮題

徳島市の縄文時代から平安時代までの考古資料約700点、(一部複製)を常設展示しています。



旧永井家庄屋敷敷

〒779-4101 美馬郡貞光町字西浦
0883-62-2018

二層うだつの町並み、小路の向こうの庄屋から懐かしい声が聴こえてきます。



阿波おどり会館

〒770-0904 徳島市新町橋 2-20 088-611-1611

阿波おどりの歴史と魅力を楽しみながら紹介する施設です。踊りの実力を試すこともできます。



美郷ほたる館

〒779-3501 麻植郡美郷村大字別枝山字宗田 82-1 0883-43-2888

ホテルを核に自然と文化との関わりを展示したエコミュージアムです。エコツアーなども行っています。



阿波池田たばこ資料館

〒778-0002 三好郡池田町字マチ 2465-1 0883-72-3450

11月中旬～12月中旬 予定) 全国の絵はがき展 (〔阿波池田うだつの家にて〕)

刻みたばこで栄えた「うだつの家」の中にあり、関係資料約200点を展示しています。



3度目の授賞 - 記録への挑戦 -

とくしまミュージアムスタンプラリーも平成11年3月にスタートして、ちょうど折り返し地点になりました。この間、たくさんの方が授賞されましたが、このたび藍住町にお住まいの東明忠さん(76才)は、何と3度目の期間限定賞を授賞されました。

東明さんは、博物館めぐりが本当に好きで、お話を伺っていますとついつい話を聞きたくなるような素敵な方です。これからも記録更新を目指してチャレンジして欲しいと願っています。

〈直撃インタビュー〉

スタンプラリーを始めようとしたきっかけは？

東明さん 18才頃から欄間を見るのが好きになり、博物館施設に興味を持ちました。日光も5回行きました。

心に残った館は？

東明さん 海南町立博物館の刀と鎧、三加茂町立歴史民俗資料館、市場町立民俗資料館等です。

3回それぞれに思いがあるのでは？

- 第1回目 平成11年6月6日～同年7月14日
 - 第2回目 平成11年9月5日～同年11月7日
 - 第3回目 平成12年3月12日～同年10月25日
- 東明さん 1回目は、ただ回るだけでした。

本格的に目標を決めて回ったのは2回目からです。3回目になると、どの館のどの場所に何があるかが、知らないうちに思い出されて楽しかったです。

スタンプラリーをして良かったことは？

東明さん 何度も足を運ぶことによって展示物のことが大変よくわかります。また戦争の展示を見ていると昔のことが思い出されるのです。特に満州でのことが忘れられません。

